# 令和８(2026)年度 経営再建計画

## 年度目標

〇収入の確保（賃料収入）　　１０億２２百万円
〇地下街の活性化（入居率）　　９７％
〇収益の確保（税引前当期純利益）　　１億７８百万円

## 事業方針

景気や個人消費の回復については先行き不透明な面があり、テナントの出店意欲も旺盛とは言い難いが、諸物価高騰、設備改修費増などにより費用面の負担は増加しつつある。特定調停計画の着実な遂行のために、新中期経営計画の達成を至上命題とし、計画初年度から経営改善に全力で取り組んでいく。地下街収入の増加に努め、支出の抑制を図る。

## 重点施策

地下街運営事業者及び施設管理事業者との連携強化を前提として、下記の重点施策に取り組む。また、地下街の運営管理と密接に関連する道路管理者などとも十分協議し取り組む。

〇地下街収入の確保
・デイリーユーザーをターゲットに飲食・日用雑貨業態を優先したリーシングの推進
・賃料増額の推進
・テナント賃料収入以外の収入確保
・近隣施設等、また梅田、難波の商業施設との連携の推進
〇地下街施設の適正な維持管理
・中長期修繕計画に基づく電気・機械設備及び土木・建築施設の更新
〇資金運用
・安全性の確保を前提に、定期預金以外の金融資産での運用
〇効率的な業務遂行
・限られた人員による運営に支障がない業務効率化

## 収支

主たる収入である賃料収入については、地下街運営事業者との連携のもとで、賃料増額や空室の改善などにより、前年度を超える目標とする。

収支計画としては、2026 年度の売上高は 14 億 47 百万円、地下街収入 13 億 82 百万円、うち賃料収入は 10 億 22 百万円とし、税引前当期純利益については 1 億 78 百万円を目標とする。

## 地下街事業

テナント売上については、社会・経済情勢の不確定要素はあるものの、個人消費の持ち直しの動きやクオーツ心斎橋の開業によるエリア活性化を好機ととらえ、テナント、地下街運営事業者及び当社の３者が連携してクリスタ長堀のブランドイメージ向上とテナント売上増加に向けて取り組んでいく。

（販売促進の基本方針）

来街機会を創出するフェアや季節性を活かした定期催事の実施を軸に、年間を通じた来街促進プロモーションとエリアマネジメントの強化施策に取り組む。